

13 石川中学校区

◆ 地区の学校：石川小学校、石川中学校

＜児童生徒数の推計＞

平成 27 年 5 月 1 日現在(推計含む)

学校名	H22		H23		H24		H25		H26		H27		H28		H29		H30		H31		H32		H33	
	C	児童数																						
石川小学校	7	221	7	214	6	201	6	193	6	184	6	166	6	152	6	151	6	152	6	152	6	158	6	156
石川中学校	4	121	4	119	4	112	4	111	4	108	3	99	3	101	3	99	3	90	3	82	3	68	3	61

※Cはクラス数

◆ 石川中学校区の検討課題と対応案

【短期】 中学校における教員の免許教科外の指導の解消及び合同授業の実施について

石川中学校では、県の小・中学校教職員配置基準により、配置させる教員数が少なく、教員は免許教科以外の教科の指導も行っています。教員数の増員は難しい状況にありますが、他校の教員が巡回することなどにより、生徒は専門教科の免許を持った教員による指導を受けることが可能となります。

このため、短期では、他校の教員による巡回指導やテレビ会議システムを活用した他校との合同学習を検討する必要があります。

【中期】 施設一体型小中一貫校の開設の検討について

石川小学校と石川中学校は、同じ敷地内に校舎があり、地域の協力を得ながら小中連携の取組を積極的に行っています。しかし、石川小学校舎は昭和 30 年代、石川中学校舎は昭和 40 年代に建設されたもので、継続的に補修などを行っていますが、老朽化が進んでいます。

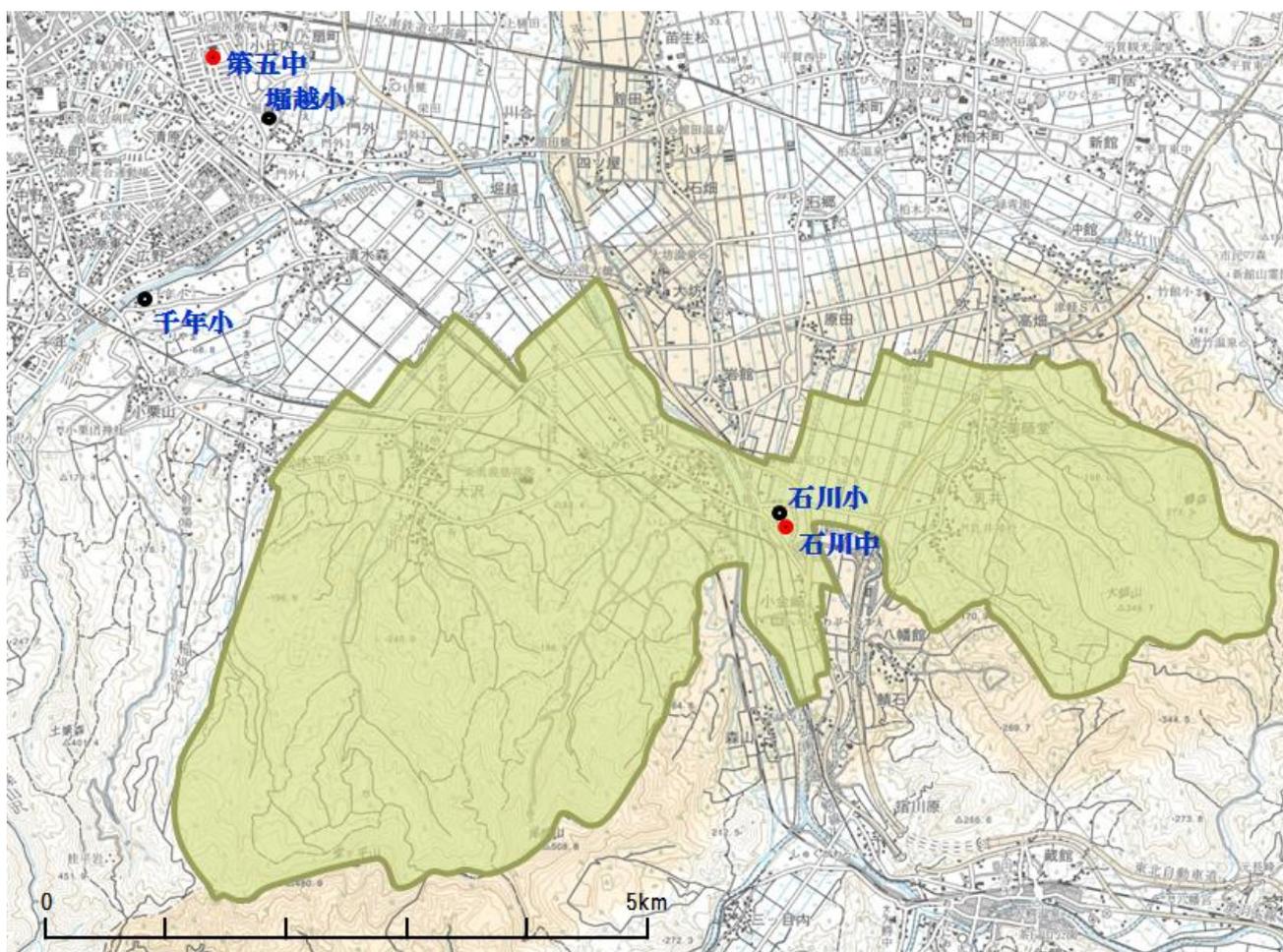
このことから、短期での石川中学校区における「小中一貫教育システム」と「学校支援システム」の構築の成果と課題を検証しながら、中期では、1つの校舎の中で小中一貫教育を行う施設一体型小中一貫校の可能性について、校舎の有効活用も含めた学校施設の長寿命化もふまえて、「義務教育9年間を貫く“学びと育ち”の環境づくり」の有効な一つの方策として検討する必要があると考えます。

【長期】 中学校区再編の必要性の検討について

石川中学校は、現在、1学年1学級の3学級数で、今後生徒数は緩やかに減少する見込みです。また、教職員の配置基準により配置される教員数が少なく、一部の教員は免許教科以外の教科の指導も行っています。

生徒が専門教科の免許を持った教員による指導を受けることができ、また集団の中で学ぶ教育環境を確保するために、短期及び中期において前述の取組を考えています。

このため、長期では、これらの取組を検証しながら、今後の生徒数や地域の事情などを踏まえ、中学校区の再編について検討を開始していく必要があると考えます。



＜小・中学校の区域＞

学校名	区域（大字名）
石川小学校	石川、小金崎、八幡館、大沢、乳井、薬師堂、小金崎一丁目
石川中学校	石川小学校の学区と同じ

＜学区外通学が認められている住所＞

なし